

日清オイリオグループ株式会社 決算補足資料

2024年度（2025年3月期）第1四半期

1. 決算概要

- 1-1. 2024年度 第1四半期決算
- 1-2. セグメント別実績
- 1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）
- 1-4. セグメント情報詳細

2. 2024年度業績予想

- 2-1. 2024年度業績予想
- 2-2. セグメント別予想
- 2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）
- 2-4. セグメント情報詳細

1. 決算概要

1-1. 2024年度 第1四半期 決算

単位：百万円

	2024年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比増減	前年同期比
売上高	128,488	128,740	△252	99.8%
海外売上高比率	23.5%	18.3%	—	—
営業利益	5,738	6,334	△595	90.6%
売上高営業利益率	4.5%	4.9%	—	—
経常利益	5,137	6,554	△1,417	78.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,125	5,037	+88	101.8%

1-2. セグメント別実績

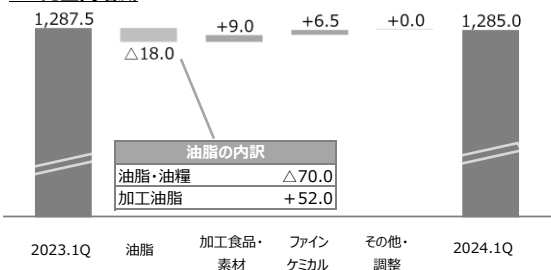
単位：百万円

	2024年度 第1四半期	2023年度 第1四半期	前年同期比増減	前年同期比
売上高	128,488	128,740	△252	99.8%
油脂	104,658	106,465	△1,807	98.3%
油脂・油糧	77,060	84,046	△6,986	91.7%
加工油脂	27,598	22,418	+5,179	123.1%
加工食品・素材	17,905	17,010	+895	105.3%
ファインケミカル	5,282	4,643	+638	113.7%
その他・調整	641	621	+20	103.3%
営業利益	5,738	6,334	△595	90.6%
油脂	4,587	5,896	△1,308	77.8%
油脂・油糧	2,784	4,842	△2,057	57.5%
加工油脂	1,803	1,053	+749	171.1%
加工食品・素材	768	194	+574	394.6%
ファインケミカル	499	312	+187	159.8%
その他・調整	△117	△69	△47	—

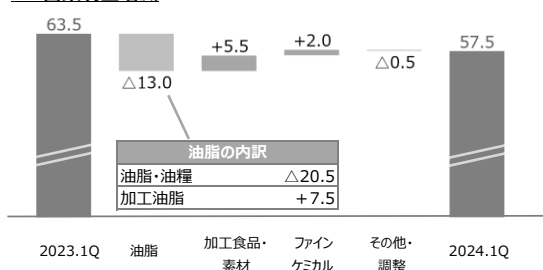
1-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前年同期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

- 油脂
 - ・国内油脂における汎用品、ミールの販売単価低下（↓）
 - ・業務用、ミールの販売数量増加（↑）
 - ・加工用、ホームユースの販売数量減少（↓）
 - ・海外加工油脂の販売数量増加および販売単価上昇（↑）
 - ・国内加工油脂の販売数量増加（↑）
- 加工食品・素材
 - ・チョコレートの販売単価上昇（↑）
 - ・大豆食品・素材の販売数量減少（↓）
- ファインケミカル
 - ・化粧品原料の販売数量増加および販売単価上昇（↑）

<営業利益増減要因>

- 油脂
 - ・オリーブオイルの原価上昇（↓）
 - ・国内油脂の粗利単価悪化、物流費の増加（↓）
 - ・パーム油取引の時価評価益の増加（↑）
 - ・海外加工油脂の販売数量増加（↑）
 - ・国内加工油脂の販売数量増加および粗利単価向上（↑）
- 加工食品・素材
 - ・チョコレートの販売単価上昇による粗利単価向上（↑）
 - ・機能素材・食品の適正価格での販売（↑）
- ファインケミカル
 - ・化粧品原料の販売数量増加（↑）

1-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
国内油脂	46,289	△4,926	△2,022	・業務用およびミールの販売数量増加による増収要因があるものの、販売単価低下により減収 ・汎用品の粗利単価悪化およびオーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	28,919	△3,734		
ホームコース	17,369	△1,192		
ミール	22,484	△2,511		
子会社	20,307	+271	△75	
連結調整 他	△12,021	+179	+39	
油脂・油種 計	77,060	△6,986	△2,057	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+1,473

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+2.5	業務用・加工用（+2.0）、ホームコース（+0.5）
販売単価要因	△55.5	業務用・加工用（△47.5）、ホームコース（△8.0）
コスト要因	+37.0	
大豆	+13.0	C&F（+55.5）、為替（△24.0）、ミール販売（△18.5）
菜種	+24.5	C&F（+55.0）、為替（△18.0）、ミール販売（△12.5）
その他商品・製造費	△0.5	
販管費・その他	△4.0	
合計	△20.0	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
海外加工油脂	28,672	+5,636	+583	・販売数量増加、販売単価上昇に加え、為替換算の影響もあり増収 ・販売数量増加およびパーム油取引の時価評価益（当期+6.0億円、前年同期+2.5億円）の増加により増益
欧州	11,007	+1,493		
アジア	15,818	+3,761		
その他地域	1,847	+381		
国内加工油脂	3,815	+189	+175	・販売数量増加および適正価格での販売により増収増益
連結調整 他	△4,889	△646	△9	
加工油脂 計	27,598	+5,179	+749	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前年同期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+12.0%
欧州	+13.0%
アジア	+12.0%
その他地域	+15.0%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
38%	+11%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+3.0	スペシャルティファット（+0.0）、その他（+3.0）
販売単価要因	+10.0	スペシャルティファット（+2.0）、その他（+8.0）
コスト要因	△11.0	
原料代	△11.5	
製造費 他	+0.5	
販管費・その他	+0.5	
パーム油取引時価評価	+3.5	当期+6.0億円、前年同期+2.5億円
合計	+6.0	

1-4. セグメント情報詳細

加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
チョコレート	9,685	+1,302	+297	・原料コスト上昇も、販売価格改定等により増収増益
調味料	1,368	+52	+71	・ドレッシングの新商品の上市により増収増益
機能素材・食品	2,372	△13	+145	・MCTの原料価格低下に伴う販売単価低下により減収 ・適正価格での販売により増益
MCT	1,832	△89		
大豆素材・食品	5,495	△261	+60	・醸造用ミールの販売数量減少により減収。粗利単価向上により増益
連結調整 他	△1,016	△183	△2	
加工食品・素材 計	17,905	+895	+574	

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前年同期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	実績	増減額		
ファインケミカル製品	4,628	+708	+174	・国内外での販売数量増により増収増益
環境・衛生	1,457	△134	△5	
連結調整 他	△803	+64	+18	
ファインケミカル 計	5,282	+638	+187	

補足：化粧品原料

売上高	増減額
3,054	+846

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度第1四半期	137.49	149.58	30.38	19.56	0.0092
2024年度第1四半期	155.85	167.85	32.96	21.47	0.0097

2. 2024年度業績予想

2-1. 2024年度業績予想

単位：百万円

	2024年度 予想	2023年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2024年度5月開示
売上高	535,000	513,541	+21,458	104.2%	535,000
営業利益	21,000	20,840	+159	100.8%	21,000
経常利益	20,000	20,033	△33	99.8%	20,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	14,500	15,148	△648	95.7%	14,500

2-2. セグメント別予想

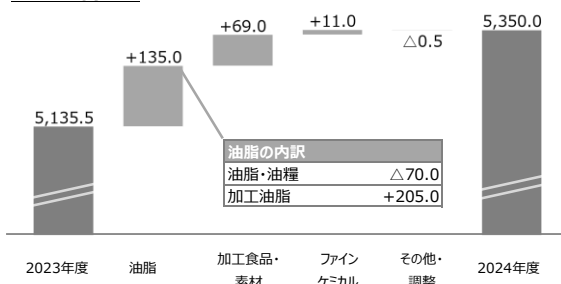
単位：百万円

	2024年度 予想	2023年度 実績	前期比増減	前期比	(参考) 2024年度5月開示
売上高	535,000	513,541	+21,458	104.2%	535,000
油脂	435,500	421,973	+13,526	103.2%	435,500
油脂・油糧	311,000	317,995	△6,995	97.8%	311,000
加工油脂	124,500	103,978	+20,521	119.7%	124,500
加工食品・素材	77,000	70,129	+6,870	109.8%	77,000
ファインケミカル	20,000	18,884	+1,115	105.9%	20,000
その他・調整	2,500	2,553	△53	97.9%	2,500
営業利益	21,000	20,840	+159	100.8%	21,000
油脂	17,250	18,981	△1,731	90.9%	17,500
油脂・油糧	10,800	14,478	△3,678	74.6%	11,250
加工油脂	6,450	4,503	+1,946	143.2%	6,250
加工食品・素材	2,700	990	+1,709	272.5%	2,700
ファインケミカル	1,350	1,208	+141	111.7%	1,100
その他・調整	△300	△340	+40	-	△300

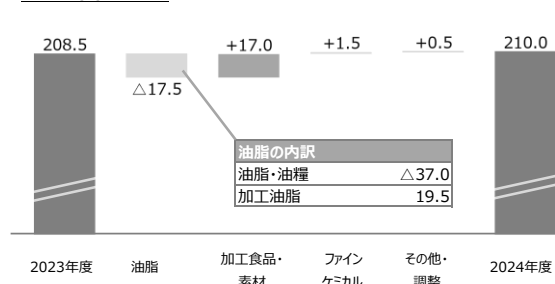
2-3. セグメント情報：売上高・営業利益の増減要因（対前期比）

単位：億円

■ 売上高増減



■ 営業利益増減



<売上高増減要因>

○油脂

- ・国内油脂における販売数量増加（↑）
- ・業務用・加工用の販売単価低下（↓）
- ・ミール相場下落に伴うミールの販売単価低下（↓）
- ・付加価値品を中心としたホームユースの販売単価上昇（↑）
- ・海外加工油脂の販売単価上昇（↑）

○加工食品・素材

- ・チョコレートの販売数量増加および販売単価上昇（↑）
- ・調味料およびMCTの販売数量増加（↑）

○ファインケミカル

- ・国内における化粧品原料等の販売数量増加（↑）

<営業利益増減要因>

○油脂

- ・オリーブオイルの原価上昇（↓）
- ・国内油脂の粗利単価悪化、物流費の増加（↓）
- ・海外加工油脂の粗利単価向上（↑）
- ・パーム油取引の時価評価損益の影響（↑）

○加工食品・素材

- ・チョコレートの販売数量増加および粗利単価向上（↑）
- ・調味料およびMCTの販売数量増加および適正価格での販売（↑）

○ファインケミカル

- ・化粧品原料の販売数量増加、適正価格での販売（↑）

2-4. セグメント情報詳細

油脂（うち油脂・油種）

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
国内油脂	194,775	+1,998	△3,371	・国内油脂およびミールの販売数量増による増収要因はあるものの、販売単価低下により減収 ・汎用品の粗利単価悪化およびオリーブオイルにおける原価上昇の影響に加え、物流費の増加もあり減益
業務用・加工用	117,876	△4,067		
ホームユース	76,899	+6,066		
ミール	88,358	△6,344		
子会社	89,163	+11,605	△256	
連結調整 他	△61,297	△14,255	△50	
油脂・油種 計	311,000	△6,995	△3,678	

補足：国内油脂に占める付加価値品

売上高構成比	売上高増減額
21%	+4,677

補足：国内油脂の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	+17.0	業務用・加工用（+12.5）、ホームユース（+4.5）
販売単価要因	△60.5	業務用・加工用（△75.0）、ホームユース（+14.5）
コスト要因	+31.5	
大豆	+12.0	C&F（+130.5）、為替（△70.0）、ミール販売（△48.5）
菜種	+34.0	C&F（+128.0）、為替（△56.5）、ミール販売（△37.5）
その他商品・製造費	△14.5	オリーブオイルの原価上昇等
販管費・その他	△21.5	
合計	△33.5	

油脂（うち加工油脂）

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
海外加工油脂	127,042	+18,013	+1,969	・チョコレート用油脂を中心とした販売数量の増加および販売単価の上昇より増収 ・販売単価上昇による粗利単価向上に加え、パーム油取引の時価評価損益（当期0億円、前期△8.0億円）の影響により増益
欧州	51,620	+5,292		
アジア	70,108	+14,878		
その他地域	5,313	△2,157		
国内加工油脂	14,884	+116	△36	
連結調整 他	△17,427	+2,391	+13	
加工油脂 計	124,500	+20,521	+1,946	

補足：海外加工油脂の販売数量増減率（増減率は前期比）

	販売数量増減率
海外加工油脂	+3%
欧州	+2%
アジア	+4%
その他地域	△7%

補足：海外加工油脂に占めるチョコレート用油脂を中心としたスペシャルティファット

売上高構成比	販売数量増減率
44%	+15%

補足：ISF（マレーシア）の営業利益増減額の内訳

単位：億円

	増減額	主な要因
販売数量要因	△1.5	スペシャルティファット（+6.0）、その他（△7.5）
販売単価要因	+133.0	スペシャルティファット（+13.5）、その他（+119.5）
コスト要因	△123.5	
原料代	△120.5	
製造費 他	△3.0	
販管費・その他	+3.5	
パーム油取引時価評価	+8.0	当期0億円、前期△8.0億円
合計	+19.5	

2-4. セグメント情報詳細

加工食品・素材

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
チョコレート	48,539	+10,809	+121	・販売数量の増加および販売単価の上昇により増収増益
調味料	5,721	+870	+211	・ドレッシングの新商品の上市により増収増益
機能素材・食品	10,252	+1,081	+1,156	・MCTの販売数量増加および適正価格での販売により増収増益
MCT	8,071	+916		
大豆素材・食品	16,841	△5,774	+210	・醸造用ミールの販売数量減少により減収。粗利単価向上により増益
連結調整 他	△4,354	△117	+11	
加工食品・素材 計	77,000	+6,870	+1,709	

ファインケミカル

単位：百万円
増減額は前期比

	売上高		営業利益 増減額	コメント
	予想	増減額		
ファインケミカル製品	17,082	+1,598	+146	・販売数量増加および適正価格での販売により増収増益
環境・衛生	6,547	+151	△7	
連結調整 他	△3,629	△635	+2	
ファインケミカル 計	20,000	+1,115	+141	

補足：化粧品原料

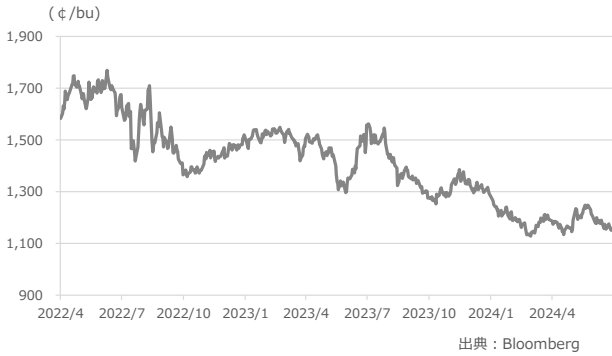
売上高	増減額
11,280	+1,469

※化粧品原料の売上高は
ファインケミカル製品売上高の内数

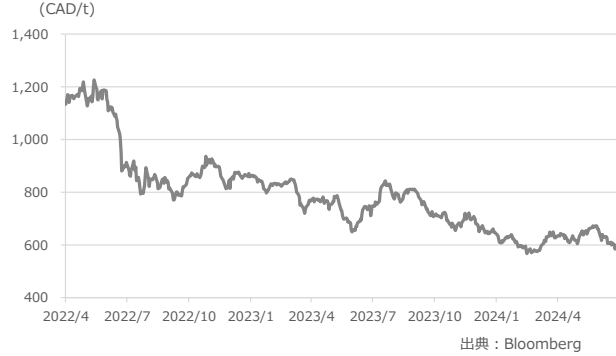
主な換算為替レート（期中平均レート）

	円/USD	円/EUR	円/MYR	円/CNY	円/IDR
2023年度	144.59	156.75	31.15	20.13	0.0094
2024年度	156.64	168.87	33.18	21.57	0.0097

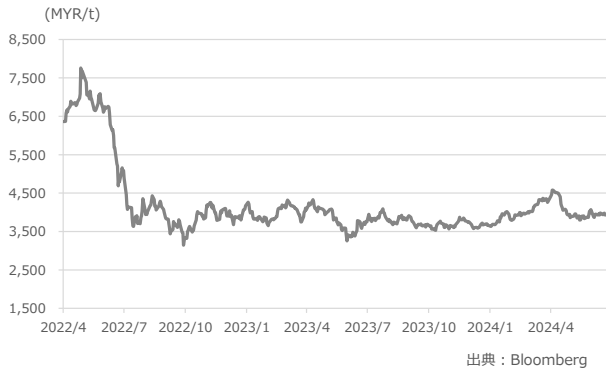
■ シカゴ大豆相場



■ ICE菜種相場



■ バーム原油相場



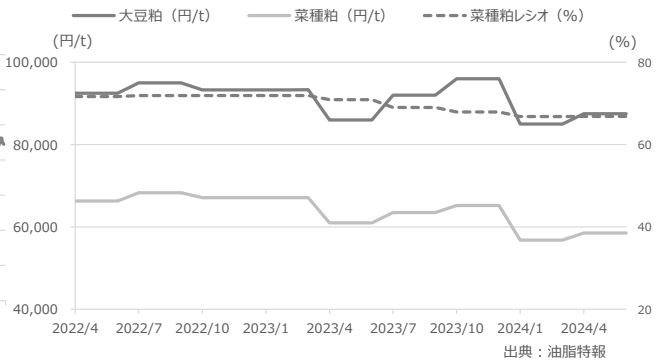
■ 為替相場 (円/ドル)



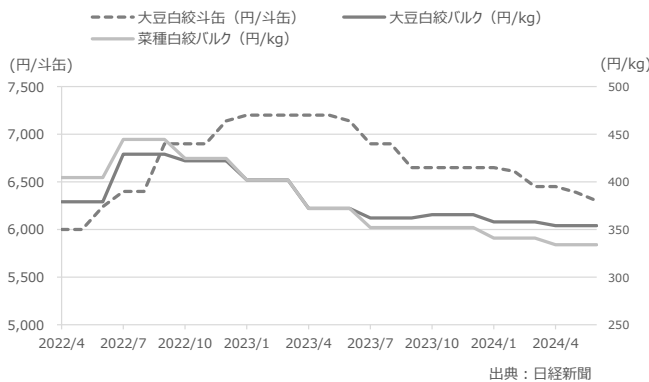
■ ミールバリュー推移



■ ミール業界平均価格

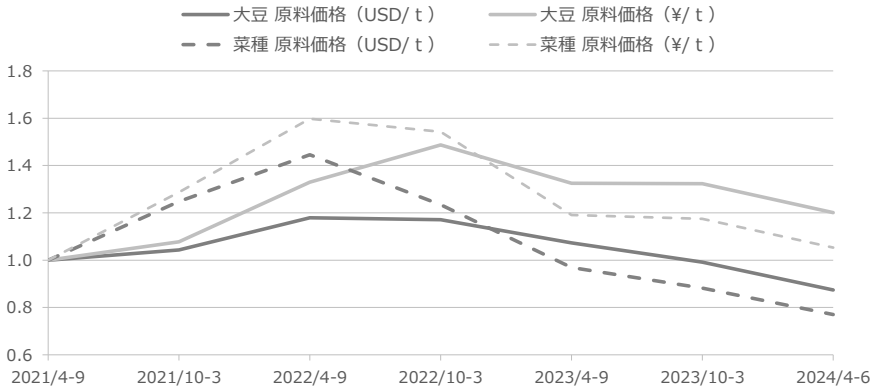


■ 日経市中相場 (業務用斗缶)

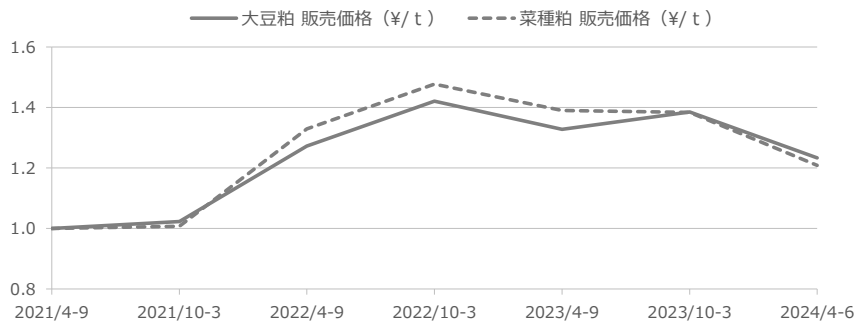


※2021年4-9期を1とした指数
出典：日清オイリオグループ(株)の数値

■ 原料（大豆・菜種）



■ 油粕（大豆・菜種）



■ 油脂主要商品の販売価格（ギフトを除く、加重平均単価）

